

問合せについての回答

Q	A
1 高体連のポイントがないのは実力が反映されないのでは？	<p>ポイントはシードを作るためのものです。高体連の大会がポイントを利用してのドロウになればポイントを加点しますが、現行では別の組織のためにJTAのポイントを利用しないで高体連独自で決めております。尚、山形県インターハイ予選は県ポイントには入りませんが次年度はベスト32以上は高体連がトーナメントプランナーを使用すればJTAポイントがつくようです。ただし、県協会に加盟していない団体・選手は全日本Jr予選や国体予選には参加出来ません。JTAポイントもつきません。</p>
2 東北予選会の8枠を増やして欲しいのですが	<p>協会でも増やしたいのですが、東北予選会に出場するには、JTAポイントを取るための参加料アップと3セットの大会が標準と定められました。一般の大会でも県大会の本戦は3セットで、予選リーグでもファイナルセット10ポイント以上が規定されました。1日あたりの試合数を考えると3セット2試合が限界ですので、ドロウ数を無限に増やすことは困難です。次年度は出来る限り3セットで2日間の日程で枠を検討します。</p>
3 他県より参加料が高いのですが安くなりませんか？	<p>2018年度より、育成のためのマンスリーのような大会の経費の値下げを（シングルス5%ダブルス5.5%）しましたが、選考会は6000円と値上げしました。そのうちボール代が2100円コート代が2000円JTAに1人1300円、500円、国体等の協力金100円ぐらいです。1時間250円のコートでは実施できましたが、他のコートではすべて赤字になっており、減額は困難です。人数が多い全国大会でも8000円前後の理由はプログラムや人件費がかかるからです。個人の挑戦のための育成大会は出来るだけ安く、全国をかけた試合はルールブック通りに区分けして実施したいと思っております。</p>
4 他県で5大会のポイント合計がポイントなんてありませんが	<p>関東などJTAルールブックに従っている県は5大会の合計です。田舎ではJTAルールブックに従っていない県が多く（3セットも）これから変わっていくと思います。</p>
5 オープンになると山形県の人東北大会に行けなくなるのでは？	<p>現在17県だけがクローズドです。将来はオープンになると思いますが、他から来た選手を受け入れないとか閉鎖的な考え方は今の時代には向かないのではないのでしょうか？今年も他県や海外の選手を山形県の大会に参加させましたが、同じテニス愛好者ですので出場を拒むのはどうかと思います。日本人とか山形県民とか郷土愛は大切ですが、スポーツを通して地域を超えてつながりましょう。山形県ではいきなり予選会を実施していないので、マンスリー大会などで県内選手と何度も試合をしないと東北大会には行けませんが、選考会でも県外選手は所属県に確認しますので簡単に他県からきて東北大会には出場出来ません。</p>

6	選考会のポイントが高すぎて同じ人ばかりになります。	次年度より選考会のポイントをなくす予定です。JTAジュニアポイントが整備されましたら、JTAポイントと県選考会以外の県ポイントで選考予定です。県ポイントが少ない場合は関東登録してJPIN大会に出場して関東や関西の大会でポイントを得るといふ事もあります。山形県のトップ選手も是非全国オープン大会やIPIN大会に出場して欲しいと思っています。ポイントが少なくて選考会に出場出来ない場合はJTA大会の成績をお知らせ下さい。全国JTA大会で勝利している選手には別途考えます。
7	大会が多くてお金ばかりがかかります。	JTAよりインフラの整備（大会が少ない）を要請されました。学校行事などもあるので、自分のスケジュールに合わせて大会に参加出来るように増設しました。関東では同一日に複数の大会があり、どの大会に出るか迷ったり、コーチが休めと言うぐらいに毎週大会に出る選手が多いようです。テニスのプロのように自分で出場する大会を選びましょう。
8	BYEの選手がポイント0だったり、ポイントがあったり変ですが	予選がある大会と全員参加の大会ではポイントが異なります。全国共通のルールです。しかしながらブレイクダウン率（例えば2位のポイント比率）は全国標準になっていませんので随時県内の実情に合わせて変更します。
9	シングルスだけ選考会なのはどうしてですか？	当初シングルスだけのJTAポイントでしたが、ダブルスポイントも実施するとの連絡を受けました。3セット大会でオープンは困難ですので、2019年度はマンスリー大会の午後よりダブルスを実施して個人にダブルスのポイントを予定しています。まだポイントが整備されていないので、春の全日本ジュニア予選についてはオープンを予定しています。中牟田や東北室内は選考会に移行します。
10	春季ジュニアと中学選抜が重なってどちらも全国があるのに何とかなりませんか？	中学選抜大会は中学校の先生方で組織している大会です。JTAや協会は関係なく独自の大会です。春季ジュニアのU14,12はJTA主催の協会の大会です。どちらの大会に出るかは個人で選ぶことです。高校も高体連の大会と協会の大会が重複する場合があります。出場については所属の監督と決めてどちらかを選んで下さい。中学大会や高体連への質問などがこちらに来ますが全く別のルールのようなのです。
11	町にクラブも協会がありません。大会に参加したいのですが？	JTA予選大会は現行では参加出来ません。県登録の必要でない市町村開催のフリーエントリー大会のみになります。住んでいる地域にテニス協会がある場合は、1人でもクラブを作って団体登録料を支払い登録すれば参加できます。団体登録料は市町村協会によってこととなりますが、県大会については個人登録料1人2000円です。市町村にテニス協会がない場合は近隣のテニス協会に同様に団体登録加盟して下さい。ただし、市町村テニス協会がないと市町村の行政からの援助がありません。例えば全国大会に出場しても激励金などが通常ありません。住んでいる町の体育協会にお問合せ下さい。テニス協会がない場合は体育協会と相談して協会を作って下さい。

12	東北大会や山形市の大会のようにリーグ戦など1試合で終わらない大会にして欲しいのですが	東北の一部の大会は、県の選考会と同様に強化練習という意味合いがあります。県協会としても各市町村やクラブに何度も試合を行える大会の設立を要請しております。県協会は年代を超えた世界を目指す大会。高体連や中体連は部活の活動成果を競い合う大会。市町村大会は同年代に絞った大会の開催。それぞれ意味が異なります。
13	以前のように選手が当日抽選したほうが良いのでは？	全国すべての県にトーナメントプランナーで公平な抽選のドロワー作成を命じられました。県によっては自分の県の選手の組み合わせが良かったりすると他県から公平でないので公開にしろと言われる場合が多いそうです。選手のドロワーの公平性を担保するために制度が変わりました。ただしドロワーを作ると1回16200円の経費（使用料）がかかりますので、クラブや各市町村で使用する場合はJTAに支払いが必要です。
14	高校に部活がないのですが大会に出場出来ますか？	インターハイ予選の団体戦は学校が認めた部活の大会ですので学校長が監督任命し選手の出場を認めない限り選手が集まったからといって出場は出来ません。協会の大会にはクラブに所属すれば問題はありませんが、学校名での出場は協会の大会に出場出来ません。学校名で出場したいときは、学校の許可を得て保護者等が学校名で市町村協会に団体登録をする必要があります。
15	東北中学で先生が監督なのに県中学が先生でないコーチなのは どうして？	組織上の問題になりますが、全国ほとんどの県では中体連という組織の中でテニス専門部を作っております。山形県ではまだ中体連に正式加盟ではありませんので先生方に加盟申請をお願いしております。そのためには山形市以外の地区の中体連を作っていく必要があります。中体連に加盟する利点としてはコート使用料が減免になり参加料が高体連のように数百円になるという事や、全国大会の旅費などが補助されます。山形県テニス協会としては普及のため県中学大会団体はコーチ（先生以外）の出場を認めております。東北中学新人大会については協会が主催しておりますが、JTAとも全く関わっていない部活の先生方が独自で部活の成果を競い合う大会だと考えて下さい。夏の大会の個人戦はJTA大会と関係がありますので国体やJTAポイントが関係します。大会要項をしっかりと見ないといろいろな主催があるので注意して下さい。